

Newsletter: 日本音韻論学会 (PHSJ)

第 17 巻第 2 号 (通巻 49 号)

2013 年 7 月 20 日

2013 年度春期研究発表会報告

さる 6 月 14 日 (金), 首都大学東京・秋葉原サテライトキャンパスにおいて, 2013 年度春期研究発表会が開催されました。博士学位取得者講演 2 件, 一般研究発表が 1 件, さらに Jacques Durand 先生(トゥルーズ第二 大学英語学科 名誉教授)によるゲスト講演があり, 参加者は 48 名でした。各講演と発表に対して, いつものように活発な質疑応答がなされました。

研究発表会終了後, 会員総会と懇親会が開催されました。懇親会は 28 名の参加者があり, たいへん盛況でした。

4 年連続で会場を提供して下さっている首都大学東京, および研究会と総会・懇親会の準備にご尽力下さった首都大学東京関係者の皆様に, 改めてお礼申し上げます。

第 17 回会員総会報告

6 月 15 日の春期研究発表会終了後, 第 17 回会員総会が開催されました。会員総会での報告事項と審議事項は以下の通りです。

記

- 2012 年度活動報告: 次の 4 点が報告された。
 - ・春期研究発表会の開催 (2012 年 6 月 15 日, 首都大学東京秋葉原サテライトキャンパス)。
 - ・音韻論フォーラム 2012 の開催 (2012 年 8 月 20 日-22 日, 同志社大学)。
 - ・韓国音韻論・形態論学会との交流, 音韻論フォーラム 2012 で Chin-Wan Chung 氏, Sunghoon Hong 氏が招待講演。
 - ・『音韻研究』第 16 号の編集。
- 2012 年度会計報告: 報告の通り承認された。
- 2012 年度会計監査報告: 報告の通り承認された。
- 『音韻研究』第 16 号編集報告。
- 2013 年度活動計画: 次の 4 点が承認された。
 - ・2013 年度春期研究発表会の開催 (2013 年 6 月 14 日, 首都大学東京秋葉原サテライトキャンパス)
 - ・韓国の音韻論・形態論学会との交流。
 - ・音韻論フォーラム 2013 の開催 (2012 年 8 月 21 日-23 日, 札幌学院大学)。
 - ・『音韻研究』第 17 号の発行。

『音韻研究』第 17 号論文募集

『音韻研究』では, 春期研究発表会・音韻論フォーラムでの発表原稿の他に, 一般の投稿論文も募集しております。いずれの категория も投稿者の名前を伏せて審査され, 掲載の採否が決定されます。会員の皆様の積極的な投稿をお願いいたします。投稿方法は以下のとおりです。

記

- ・投稿方法: Microsoft Word で作成したファイルとそれを PDF ファイルにしたもの各 1 通、さらにそれぞれのファイルから氏名・所属・謝辞などを削除したもの各 1 通の計 4 通を、下記の編集担当理事まで電子メールで送付する (ただし、謝辞の有無については自由とする)。ファイル名は論文タイトルとする。電子媒体で投稿不可能な場合は、事前に下記の編集担当理事にご連絡ください。
- ・分量: 8 頁を原則とする。
- ・投稿先: 服部範子 (編集担当理事)
e-mail: hattori [AT] human.mie-u.ac.jp
※上記 [AT] の部分を, @ に変えてください。
- ・締切: 2013 年 10 月 20 日 (日) 必着
- ・書式の詳細については, 学会ホームページ, あるいは、『音韻研究』最新号の巻末に記載された執筆要領をご覧ください。
- ・投稿全般に関する問い合わせは, 担当理事までお願いいたします。書式を守っていない, あるいは期限に間に合わない応募原稿は無効となりますので, くれぐれもご注意ください。

音韻論フォーラム 2013 開催

来る 8 月 21 日 (水)~23 日 (金) に, 音韻論フォーラム 2013 が札幌学院大学社会連携センターにて開催されます。

海外研究者 6 名による基調講演, 学位取得者講演 2 件, 一般研究発表 9 件と, 充実した内容になっています。奮ってご参加下さい。

記

日時: 2012 年 8 月 21 日 (水) ~23 日 (金)
会場: 札幌学院大学社会連携センター
(札幌市中央区大通西 6 丁目) 301 教室
新千歳空港から JR 快速エアポートで JR 札幌駅まで 36 分、地下鉄 (南北線もしくは東豊線) に乗換え「大通」駅下車、1 番出口から徒歩 1 分、合計 50 分程度。なお新千歳空港からは札幌都心行きの高速 バスも 15 分間隔で出ています (所要時間 80 分程度)。詳細は下記の大学 HP を参照。

<http://www.sgu.ac.jp/rcc/map.htm>

参加費: 一般・維持会員 1,000 円, 学生会員 500 円, 非会員 2,000 円

詳細につきましては, 添付のプログラム, ならびに, 学会ホームページをご覧ください。

学会ホームページ:

<http://sils.shoin.ac.jp/PhonWeb/gakkai.html>

なお、ホテル等の指定はありませんので、宿泊予定の方は、各自でお早めにご予約下さるようお願いいたします。

旅費の補助について

学会では、若手研究者への支援を目的として、フォーラムや研究発表会の遠隔地からの発表者で、かつ、非有職者（学生や非常勤講師等）を対象に旅費の補助を行います（一人上限2万円）。応募者に対する審査と補助額の算定は事務局で行います。該当される方は奮って研究発表会ならびにフォーラムの発表に応募して下さい。

『音韻研究』の購入方法

学会からの配布以外に『音韻研究』の購入を希望される会員は、会員特別価格で購入できます。また、本学会の前身である音韻論研究会編『音韻研究—理論と実践』（1996）についても、特別価格で購入できます。ともに、ご自身で直接開拓社にお申し込み下さい。その際、送付先、氏名、必要な号の番号、部数とともに、日本音韻論学会の会員であることをお伝え下さい。折り返し、開拓社より出版物と振込用紙が送られることになっております。詳しくは、開拓社にお問い合わせ下さい。

開拓社『音韻研究』係

〒113-0023 東京都文京区向丘 1-5-2 水上ビル 4F

電話：03-5842-8900 Fax：03-5842-5560

<http://www.kaitakusha.co.jp>

『音韻研究』定期購読のお願い

学会からの配布のほかに、勤務校の研究室・図書館などに、もう1冊、研究費等による『音韻研究』の定期購読をお願いいたします。

会費納入のお願い

日本音韻論学会は、会員の皆様からの「会費」により運営されております。会費納入にご協力下さいますよう、お願い申し上げます。

封筒の宛名下にある数字を参考にして、会費を納入して下さい。印字された数字のうち2,3は、それぞれ2012, 2013の各年度の会費が未納であることを意味します。*は、会費納入済みであることを意味します。また、tはthousandの意味で、[5t]とあれば、5,000円会費が未納、または不足していることを意味します。たとえば、「*3[5t]」と印字されていれば、2013年度の会費が未納で、その総額が5,000円であることを意味します。

また、年度にかかわらず、未納分の会費が納入され次第、当該年度の『音韻研究』を無料で送付しております。

会費納入には、次の二つの方法があります。

1. 郵便振込：同封の振込用紙を使い振込

口座番号：00180-6-402077

加入者名：日本音韻論学会（別途領収書を希望される方は、会計・西村までご連絡下さい）

2. 研究発表会、フォーラムの会場で会計・西村に直接手渡す。領収書を発行します。

年会費：

維持会員：10,000円、

一般会員：5,000円、学生会員：4,000円

「維持会員」は本会を格別に支援して下さいの会員です。年会費1万円を納入することにより、どなたでも維持会員になることができます。ご検討、ご協力をお願い申し上げます。

住所等変更通知と確認のお願い

会員情報(住所、所属、連絡先)が変更になった場合は、必ず事務局会計・西村にご連絡下さい(学生会員から一般会員へと身分変更となった場合も必ずお知らせ下さい。また、Eメールも常時使用のものをお知らせ下さい)。連絡されないままにされますと、Newsletterや『音韻研究』などの配布物が正しく配送されませんので、くれぐれもご注意のほどお願いいたします。

日本音韻論学会事務局

このほど補佐兼書記として別府大学の竹安大氏に就任していただきました。

【事務局長(学会所在地)】本間猛(首都大学東京)

〒192-0397 東京都八王子市南大沢 1-1

首都大学東京 人文科学研究科(言語科学)

TEL：042-677-1111(代表)

E-mail：honmat@st.rim.or.jp

【事務局補佐・書記】竹安大(別府大学)

〒874-8501 大分県別府市北石垣 82

別府大学 文学部

TEL：0977-67-0101(代表)

E-mail：takeyasu@nm.beppu-u.ac.jp

【会計】西村康平(愛知淑徳大学)

〒464-8671 愛知県名古屋市中千種区桜が丘 23

愛知淑徳大学 外国語教育部門

TEL 052-781-1151(代表)

E-mail：knishimu@asu.aasa.ac.jp